

事業計画の特徴

- ・市の遊休地に野立て太陽光発電設備を設置し、自営線マイクログリッドを構築することで、周辺の公共施設に電力供給するとともに、災害時には避難施設に優先して電力供給を行うなど、レジリエンス強化も同時に実現
- ・市内中学校等には、自家消費型太陽光発電設備及び蓄電池を導入し、市が率先して脱炭素化を実施するとともに、市民の脱炭素に対する意識の向上や、災害時のレジリエンス強化を実現
- ・市の脱炭素化への取り組みの進捗状況が具体的に見えるように、導入した再エネの発電量等を大型電光掲示板などにリアルタイムで表示し、EVスタンドの利用者等への意識啓発を図る

事業計画の概要（民間） 再エネ：1,600kW

取組（事業者）	規模
太陽光発電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8件 ・ 1,600kW

事業計画の概要（公共） 再エネ：1,036kW

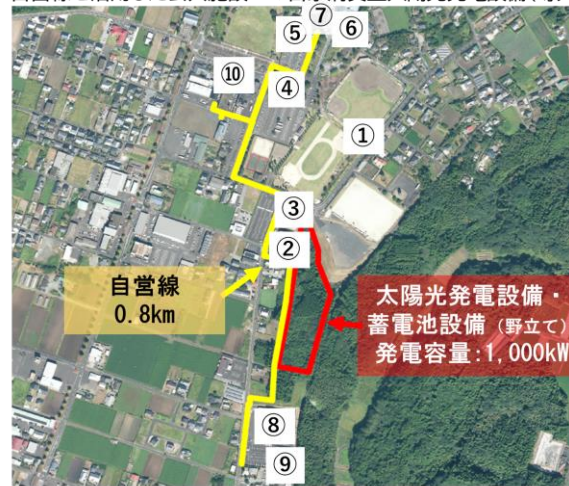
取組	規模
PPAによる太陽光発電設備・蓄電池の導入 （自営線 0.8km、EMSの構築を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1件 ・ 1,000kW
市内中学校への太陽光発電設備 ・蓄電池の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3件 ・ 36kW
EVカーシェア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10台
充電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8台

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	総事業費	交付金額	計画期間
2,636kW	39,228 t-CO2	10.7億円	5.8億円	令和5年度 ～ 令和9年度

取組のイメージ

自営線を活用した公共施設への自家消費型太陽光発電設備（導入予定箇所）



番号	対象施設
①	知覧平和公園
②	知覧武道館
③	B&G海洋センター
④	知覧体育館
⑤	知覧文化会館
⑥	知覧特攻平和会館
⑦	ミュージアム知覧
⑧	学校給食センター
⑨	知覧保健センター
⑩	知覧老人福祉センター